

## 特殊疾患児に対する保健指導に関する研究 分担研究報告書

分担研究者 三河春樹

**総括:**アトピー性皮膚炎の治療、特にその生活指導に関しては、現在、病因解釈の転換期に当たるため、若干の混乱がみられる。我々は、加齢に応じた病因変化に関する、最新の知識に準拠した生活指導指針を確立するため、栄養学的な配慮に基づく適切な食事指導の確立、だにアレルギーに対する予防対策、スキンケアの方策についての、指導要項を検討することとした。本年度は、取りあえず、食事指導指針、スキンケアに関する諸問題を中心に調査研究を行った。次に調査研究の成果を研究課題毎に述べる。

### 1) 幼児期アトピー性皮膚炎と食事内容との関係調査に関するパイロット調査

片村憲司(京大小児科)

1歳半検診受診者の食事内容の聞き取り調査を行い、総カロリー、蛋白、脂肪、糖質の各栄養素構成、ビタミン、ミネラルの摂取量を算出した。本年のパイロット調査によって、調査施設を決定し、調査方法、調査プロトコルをほぼ完成することが出来た。次回の調査に於いては、更に必須脂肪酸、アミノ酸構成に及ぶ分析の可能なコンピュータ・ソフトを準備し、アトピー性皮膚炎と食事との関係を分析する予定である。

### 2) 卵アレルギー児の栄養調査 伊藤節子(医仁会武田総合病院小児科)

卵アレルギーとの関連が推測されるアトピー性皮膚炎患児のうち、卵の除去食を実施中の患児の摂取食事の栄養内容について、同年令の健康児と比較検討した。少なくとも、当病院小児科受診者に関しては、健康児と比較して患児はやや多い、蛋白、ミネラル、より少ない脂肪、より多種品目の食品を摂取し、ほぼ同等の発育を遂げていた。健康を目処とした栄養としては、除去食実施者の方により良好な配慮がみられた。

### 3) 抗アレルギー食に関する研究 鳥居新平(名大医療技術短大)

難治性アトピー性皮膚炎にエイコサペンタイン酸を中心とする $\omega$ -3系列の脂肪酸を投与し、良好な治癒成績を挙げた。この事実より乳幼児期の食事内容に、或程度、背の青い魚の摂取を考慮す

る必要を示唆した。

#### 4) アトピー性皮膚炎患者のドライスキンとスキンケア 池沢善郎(横浜市大皮膚科)

アトピー性皮膚炎患者の皮膚は皮疹部に限らず、全般的に、角質の不全角化、顆粒層のフィラグリン蛋白の消失により、各層の保湿因子や水バリアー機能が低下し、ドライスキンとなっている。スキンケアとして、軟膏剤による保湿が、先ず要求される所以である。

#### 5) アトピー性皮膚炎の保健指導のあり方について 木曾啓介(京都府保健環境部健康対策室)

京都府は平成3年度に「アトピー性皮膚炎に関する調査研究」の一環として「アトピー性皮膚炎の保健指導Q&A」を作成し、日常業務に役立っているが、今回は多情報化時代にあつて、母親に、今後どのような保健指導を進めていくかについての基礎資料を得るため、京都府各地の保健婦に対するアンケート調査を行い、多くの有益な資料を収集し得た。

#### 6) 本年度、本分担研究の総括による指導要項の要点 三河春樹(京大小児科)

アレルギー予防に関して、最低限、次の各項に配慮すべきであろう。食事には、当面、適正な総カロリーに止めること、多品目の食品摂取を心がけること、脂肪によるカロリーを25%以内に止めること、リノレイン酸リノール酸比を1以上に維持することが推奨される。だにに関してはWHOの示唆程度は遵守すべきであろう。スキンケアに関しては、さしずめ皮膚の保湿に配慮すべきであろう。



**検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用  
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



総括:アトピー性皮膚炎の治療、特にその生活指導に関しては、現在、病因解釈の転換期に当たるため、若干の混乱がみられる。我々は、加齢に応じた病因変化に関する、最新の知識に準拠した生活指導指針を確立するため、栄養学的な配慮に基づく適切な食事指導の確立、だにアレルギーに対する予防対策、スキンケアの方策についての、指導要項を検討することとした。本年度は、取りあえず、食事指導指針、スキンケアに関する諸問題を中心に調査研究を行った。次に調査研究の成果を研究課題毎に述べる。